

所 報

(2008. 3. 1～ 3.31)

□人事 (3月31日付)

退任 所長 相田 利雄
 副所長 五十嵐 仁
 退任 兼任研究員
 宮城 孝 (現代福祉学部教授)
 上村 泰裕 (社会学部准教授)
 退職 臨時職員 定森 孝子
 編集委嘱解除 川崎 忠文

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』593号 (2008年4月)
 『高齢者の在宅ケア—歩を進めるために—改正介護保険制度実施に係る諸経験—(加齢過程における福祉研究会記録その12)』(ワーキング・ペーパーNo.29)
 法政大学大原社会問題研究所叢書
 嶺学編著『高齢者の住まいとケア—自立した生活, その支援と住環境』御茶の水書房

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	46	17	63
受 贈	24	2	26
合 計	70	19	89

□閲覧サービス

閲覧
 開館日数 25日
 閲覧人員 23名
 貸出図書 38冊
 コピーサービス
 学外 14件 1247枚
 学内 6件 282枚

日 誌

- 1日 加齢過程における福祉研究会
 テーマ:「緩和ケアと在宅医療」
 講師:吉澤明孝氏 (要町ホームケアクリニック院長)
 5日 『日本労働年鑑』編集会議
 12日 『日本労働年鑑』編集会議
 13日 戦後社会運動史研究会
 テーマ:「占領期の在日朝鮮人運動」

- 報告者:鄭栄桓氏 (一橋大学大学院博士課程)
 14日 久留間健氏より久留間鮫造関係資料段ボール8箱受贈
 向坂逸郎文庫図書のうち, 故向坂家に残してある図書の一部 (段ボール5箱) 搬入
 15日 公開研究会 (共催:法政大学大原社会問題研究所, 一橋大学大学院社会学研究科フェアレィバー研究教育センター, 於:法政大学市ヶ谷キャンパス ボワソナードタワー)
 テーマ:「移民労働者の組織化と支援活動—サンフランシスコ・ベイエリアの事例から」
 スピーカー:山田信行氏 (駒澤大学文学部教授)
 共同研究プロジェクト「福祉国家と家族政策」研究会
 報告:「無償労働の貨幣評価におけるアウトプット法」(橋本美由紀), 「ドイツの格差問題と最低賃金確立への努力」(齊藤純子氏 (国立国会図書館調査室))
 加齢過程における福祉研究会
 テーマ:「高齢者住宅の現状と課題」
 講師:濱田孝一氏 (日本シニアリビング新聞顧問)
 共同研究プロジェクト「国際循環型社会の可能性」研究会
 テーマ:「国際循環資源フローとそのマネジメント—台湾, 香港, そして日本」
 報告者:南部和香氏 (明治大学講師)
 19日 運営委員会
 議題①嘱託研究員の決定について
 ②新専任研究員の募集延期について
 ③大原社会問題研究所第3次中期計画の決定について
 ④その他
 25日 事務会議
 26日 研究員会議
 月例研究会
 テーマ:「鈴木茂三郎文庫整理の現状—目録作成に向けての作業報告」
 報告者:松尾純子

大原社会問題研究所雑誌 No.596 (2008年7月号)

2008年7月25日発行

定価 1,000円 (本体952円), 年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 五十嵐 仁

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042 (783) 2307